

宣教支援センターだより 2022年2月号

シオン山教会創立 100 周年記念礼拝まで、あと 5 か月を切りました。感染予防のため、十分な準備の時間を取ることのできない状況が続くことと思います。

優先順位の一番は「祈り」です。心を合わせて、主の御心を祈り求めましょう。

■教会を新たにするために

その1 1 助け、助けられの関係

臼杵教会を訪問させていただいた折に、支援という言葉が持つしんどさについて、永松牧師と語り合ったことがあります。

「あなた方を支援します」という言葉は、時として、「あなた方はそのままではダメです」というマイナスのメッセージになって伝わってしまう場合があります。

宣教支援センターのプロジェクトを準備していた 2014 年度以前にも、そのような議論があったと伝え聞いています。

支援を受けるということは、助けられる側に身を置くことになります。いつも支援を受ける側にばかり身を置いていまして、誰でもきっと、みじめな気持ちになるだろうと思います。

東日本大震災の直後、私はたくさんの支援者をお迎えした経験があります。支援者にとっては出かけたことが美談になりますが、支援を受けた側には複雑な感情が残ります。手放しでは喜べません。

助けられた者が助ける側に回ることでできる関係性こそ、イエスが勧めている人間関係です。「あなたが立ち直ったとき

には、兄弟たちを力づけてやりなさい」(ルカ 22:32/口語訳)。

私たちは教会活動を通して、誰に会おうとしているのでしょうか。

■協力伝道ミーティング

延期しました第 3 回協力伝道ミーティングは、先日の地方連合役員会において、3月27日(日)15時から17時まで、シオン山教会で行うことを決めました。

運営委員会がまとめた「宣教支援センター7年間の総括」(案)の要点をご紹介します。2023年度以降の活動継続に向けたご意見を伺う機会にいたします。

オンラインでの参加方法等については、追って掲示いたします。

■今月の予定

- 6日(日)シオン山教会礼拝出席
- 10日(木)総務財務委に陪席(小倉)
- 11日(金)信教の自由を守る日集会
- 13日(日)シオン山教会礼拝宣教
- 15日(火)センター調整会議
- 19日(土)シオン山・執事会陪席
- 20日(日)小倉教会礼拝出席
- 27日(日)高須教会礼拝出席
光教会解散礼拝出席
- 28日(月)地方連合牧師会に陪席

■編集後記

今年の信教の自由を守る日集会は、場所を東八幡教会に変更して10時半から行います。講師の金性済(キム・ソンジエ)先生は東京からオンラインによる講演になります。ライブで動画配信します。「東八幡教会」で検索の上、YouTubeを通してご参加ください。(齊藤弘司)